

こども家庭センターで 発揮する、 保健師の専門性

2024年度から、母子保健と児童福祉が一体化した「こども家庭センター」が市区町村の努力義務として始動した。本特集では、こども家庭センター設置の趣旨や先行する取り組み事例を紹介する。今後、こども家庭センターを子育て支援の拠点としてさまざまな地域資源と連携し、保健師の専門性をより発揮していくためにはどうするべきか。そのヒントを探りたい。

- こども家庭センターの役割と保健師への期待
- 保健と福祉の一体的支援へのパラダイムシフトに対応する保健師の役割
- 伴走型支援の要となるサポートプラン作成のポイント
- 松山市における母子保健と児童福祉の協働
すくすく支援課とこども相談課の協働による一体的な支援への取り組み
- 調布市における母子保健と児童福祉の協働
チームで取り組む予防的支援